

一步先を行く発想で、地域に真のゆたかさを。



2025年度第1四半期 決算ハイライト

2025年8月7日

エグゼクティブサマリー

2025年度第1四半期決算 [連結業績]

□ 連結コア業務純益は337億円（前年比+59億円）と年度計画1,245億円に対し27.1%と順調な進捗

- » コア業務粗利益は、**預貸金利息**や**市場部門収益**等の国内資金利益の増加に加え、**みんなの銀行関連のシステム外販収益**の計上により、前年比+91億円の増益。経費は、**ベア**や**DX関連の成長投資**等により▲32億円増加

□ 連結当期純利益は228億円（前年比+19億円）と年度計画800億円に対し28.5%と高い進捗率

- » **有価証券関係損益**は14億円と前年並みの水準。**信用コスト**は、**前年の大口回収要因（戻り益）の剥落**により、前年比▲30億円の増加となったが、新規倒産や格付変動は前年並みで推移しており、年度計画169億円に対する割合は15.4%に留まる

□ 預貸金平残は増加トレンドを維持、有価証券評価損益（ヘッジ考慮後）は、25/3末対比で+190億円改善

- » **貸出金平残**（政府向け等除く）は前年比+3,399億円（年率+2.2%）、**預金等平残**は前年比+692億円（年率+0.3%）、預貸金ともに**増加トレンドを維持**
- » **有価証券評価損益**（ヘッジ考慮後）は、株価上昇等による投資信託や株式の含み益の増加により、▲3億円まで**改善**

目次

損益の状況	… P3-11
ー 損益サマリー	… P3
ー トップライン（連結コア業務純益）	… P4
ー ボトムライン（連結純利益）	… P5
ー コア業務純益（銀行合算）	… P6
ー 資金利益（銀行合算）	… P7
ー 国内貸出金利回り	… P8
ー 連結非資金利益（除く債券損益）	… P9
ー 連結経費	… P10
ー 連結信用コスト	… P11
資産・負債等の状況	… P12-16
ー 貸出金	… P12
ー 預金等（譲渡性預金含む）	… P13
ー 資産運用商品	… P14
ー 有価証券	… P15
ー 金融再生法開示債権・貸倒引当金	… P16
みんなの銀行関連	… P17

本資料における表記・計数の定義

下記以外で特段の定義がある場合は、各ページにその詳細を記載しております。

FFG連結	ふくおかフィナンシャルグループ連結
銀行合算	福岡・熊本・十八親和・ <u>福岡中央（注）</u> の各行単純合算
グループ合算	銀行合算+FFG証券
みんなの銀行関連	みんなの銀行とゼロバンク・デザインファクトリー（ZDF）の合算
当期純利益	単体・銀行合算の当期（中間・四半期）純利益
連結純利益	親会社株主に帰属する当期（中間・四半期）純利益
政府等向け貸出金	政府向け貸出金と福岡銀行のFFG向け貸出金の合計

（注）福岡中央銀行の計数について

- 当社と福岡中央銀行は2023年10月1日に経営統合いたしました。
- 福岡中央銀行の損益は2023年度下半期（6ヶ月）以降、残高は経営統合以降の計数に対し、必要な調整を行ったうえで連結・合算しております。なお、**2023年9月末以前の計数には同行の計数を含んでおりません。**

損益サマリー

損益の状況

FFG連結 (単位：億円)	2025/1Q	前年比	2024/1Q
コア業務粗利益（※）	762	+91	672
経費	▲ 425	+32	393
コア業務純益	① 337	+59	278
信用コスト	▲ ② 26	+30	▲ 4
有価証券関係損益	③ 14	▲ 6	20
国債等債券損益	▲ 4	▲ 6	2
株式等関係損益	18	▲ 0	18
経常利益	326	+19	307
特別損益	▲ 0	+4	▲ 4
連結純利益	④ 228	+19	209

銀行合算 (単位：億円)	2025/1Q	前年比	2024/1Q
コア業務粗利益（※）	656	+34	622
資金利益	586	+48	538
国内部門	546	+42	504
国際部門	40	+5	34
非資金利益（除く債券損益）	70	▲ 14	84
経費	▲ 327	+20	307
コア業務純益	328	+14	315
経常利益	329	▲ 25	355
当期純利益	244	▲ 13	258
信用コスト	▲ 13	+30	▲ 17

年度計画*	進捗率
1,245	27.1%
169	15.4%
80	17.6%
1,170	27.8%
800	28.5%

年度計画*	進捗率
1,390	23.6%
1,360	24.2%
1,004	24.4%
110	12.0%

－ 計画どおりの進捗
（ファンド収益等を
2Qに計上）

(1) 業績ハイライト（FFG連結）

① コア業務純益 337億円（前年比+59億円）▶詳細P4,6

【年度計画1,245億円に対する進捗率 27.1%：順調に推移】

- － コア業務粗利益は、資金利益（国内部門）積上げやみんなの銀行関連のシステム外販収益計上等により、前年比+91億円の増益
- － 経費は、ベアやシステム関連コストの増加を主因として前年比▲32億円増加

② 信用コスト 26億円の繰入（前年比▲30億円の増加）▶詳細P11

- － 銀行合算において前年の大口回収等による戻り益から繰入に反転したことを主因に▲30億円増加

③ 有価証券関係損益 14億円（前年比▲6億円）

- － 概ね前年並みの水準（当期の株式等関係損益+18億円：政策投資株+7億円、純投資等+11億円）

④ 連結純利益 228億円（前年比+19億円）▶詳細P5

【年度計画800億円に対する進捗率 28.5%：順調に推移】

(2) ボトムラインの連単差

(単位：億円)	2025/1Q	前年比	2024/1Q	前年比増減要因
当期純利益（銀行合算）	244	▲13	258	【FFG単体▲6億円】
FFG単体	▲44	▲6	▲38	－ ベアやシステム関連コスト等の経費増加
みんなの銀行関連	20	+40	▲19	【みんなの銀行関連+40億円】
子会社損益	11	▲1	11	－ システム外販収益を計上
その他連結調整	▲3	+0	▲3	【子会社損益▲1億円、その他連結調整+0億円】
連結純利益	④ 228	+19	209	－ 概ね前年並みの水準

（※）コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券損益

*2025年5月12日決算短信及び2025年5月27日会社説明会資料における公表値

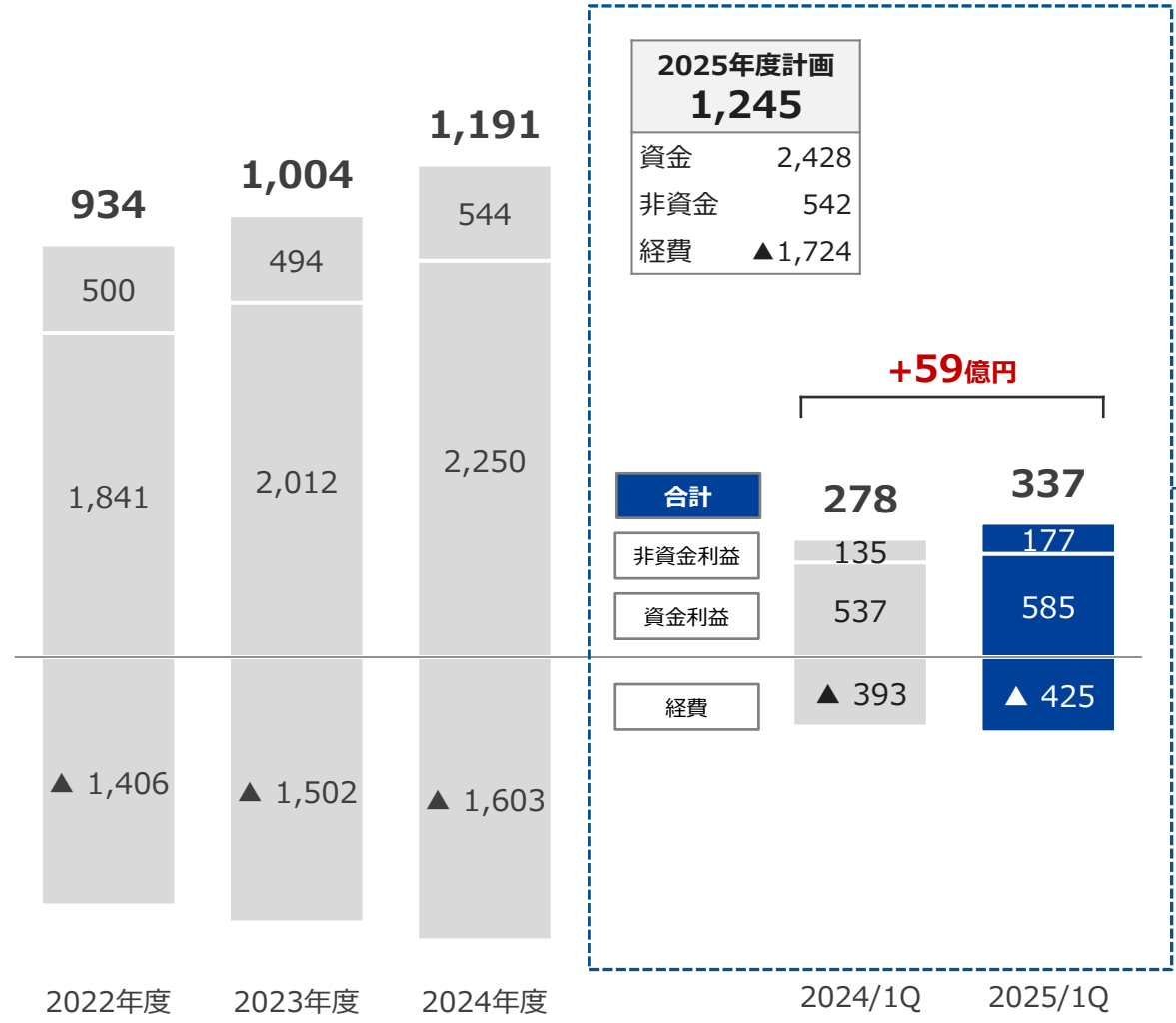
トップライン（連結コア業務純益）

損益の状況

コア業務純益の推移（FFG連結）

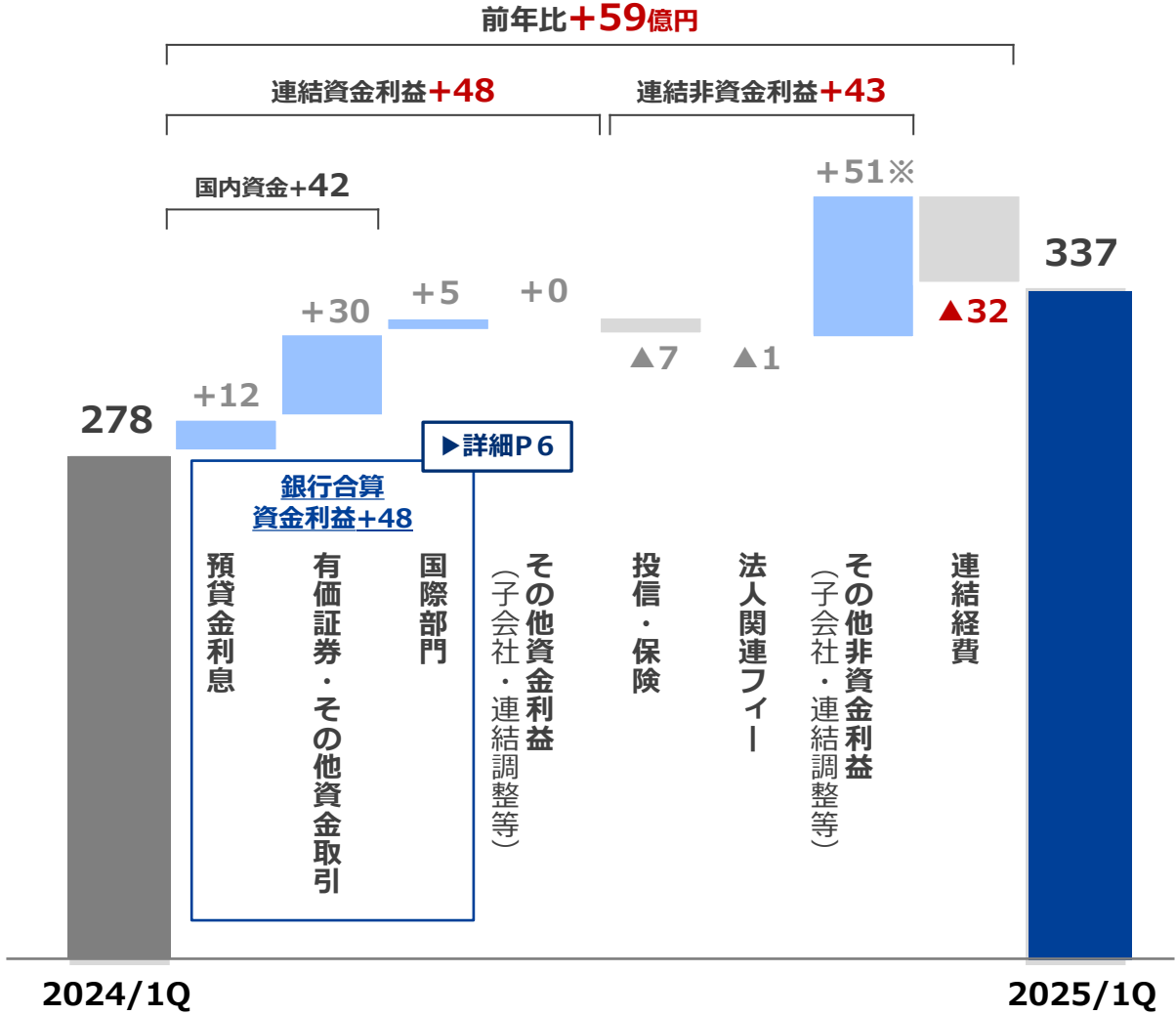
（単位：億円）

〔非資金利益〕 除く債券損益、〔経費〕 除く臨時処理分



前年比増減の内訳（FFG連結）

（単位：億円）



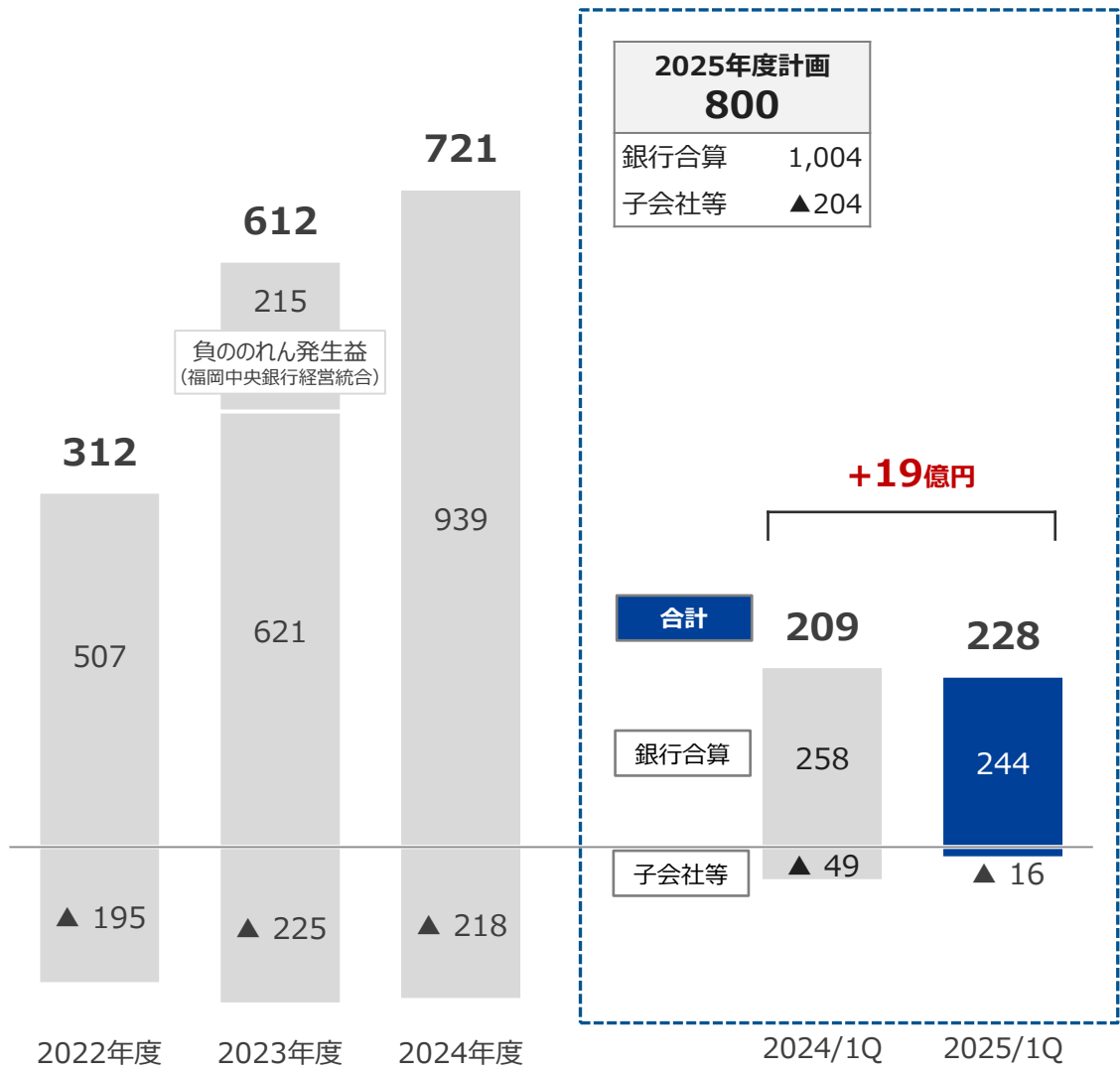
※みんなの銀行関連のシステム外販収益を含む

ボトムライン（連結純利益）

損益の状況

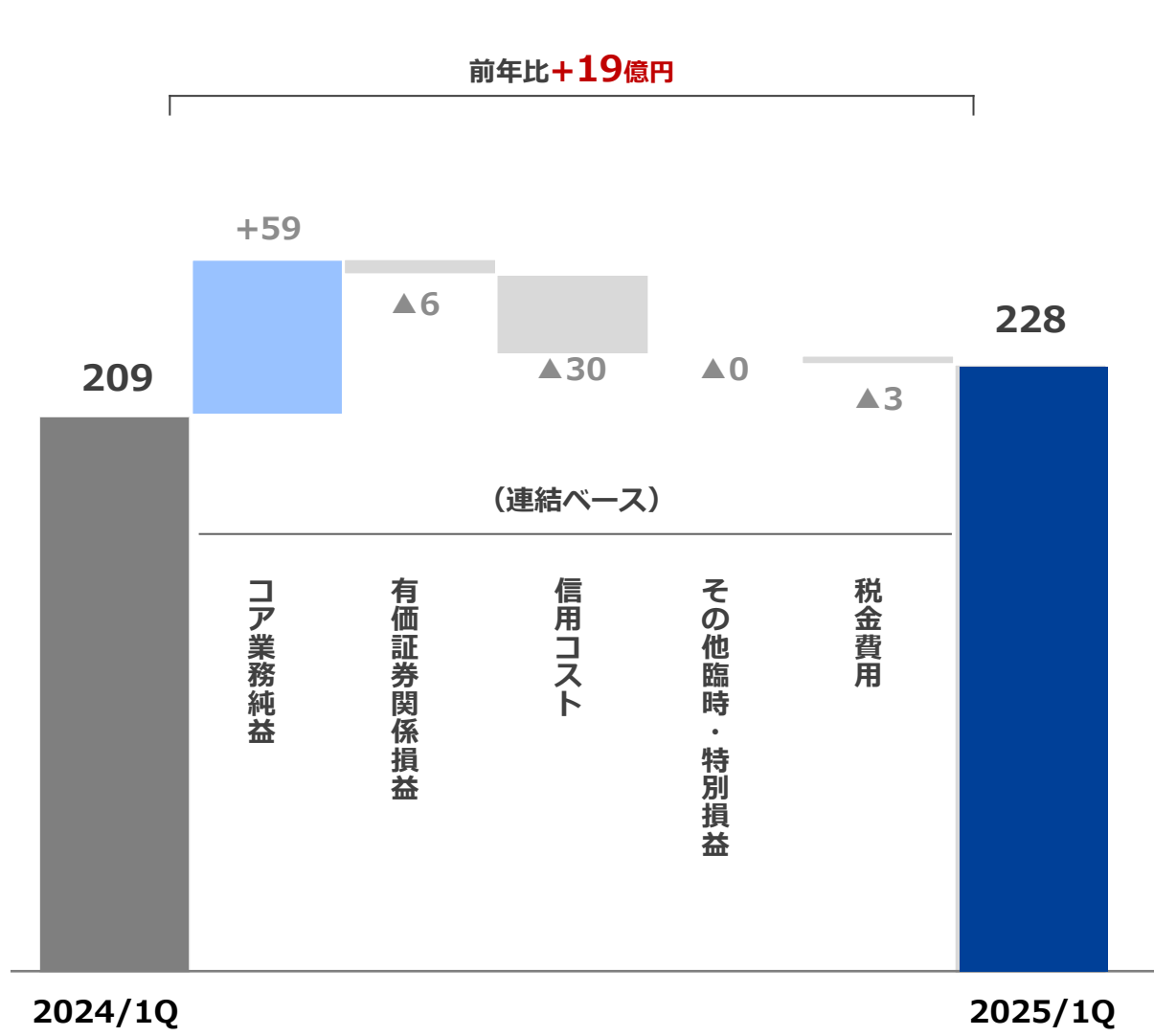
連結純利益の推移

(単位：億円)



前年比増減の内訳

(単位：億円)



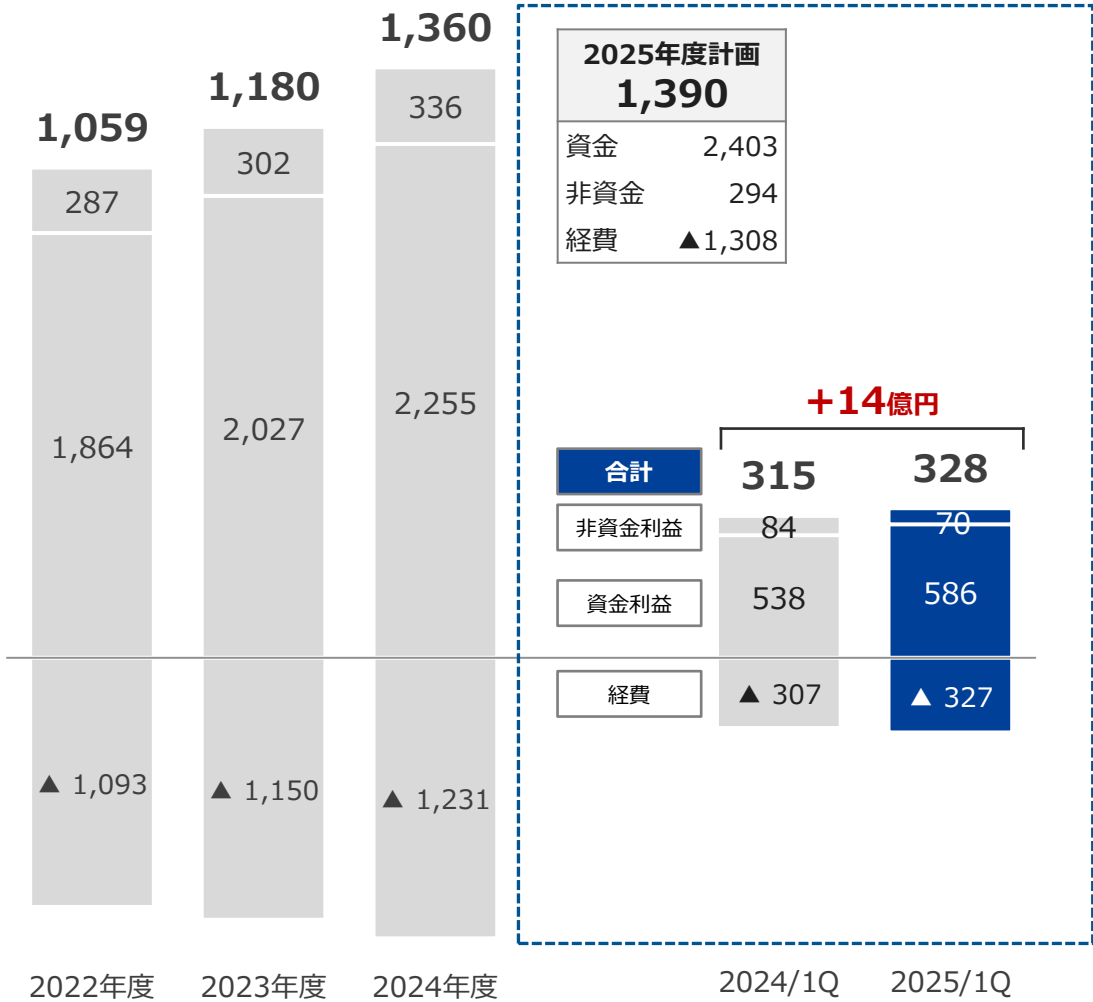
コア業務純益（銀行合算）

損益の状況

コア業務純益の推移（銀行合算）

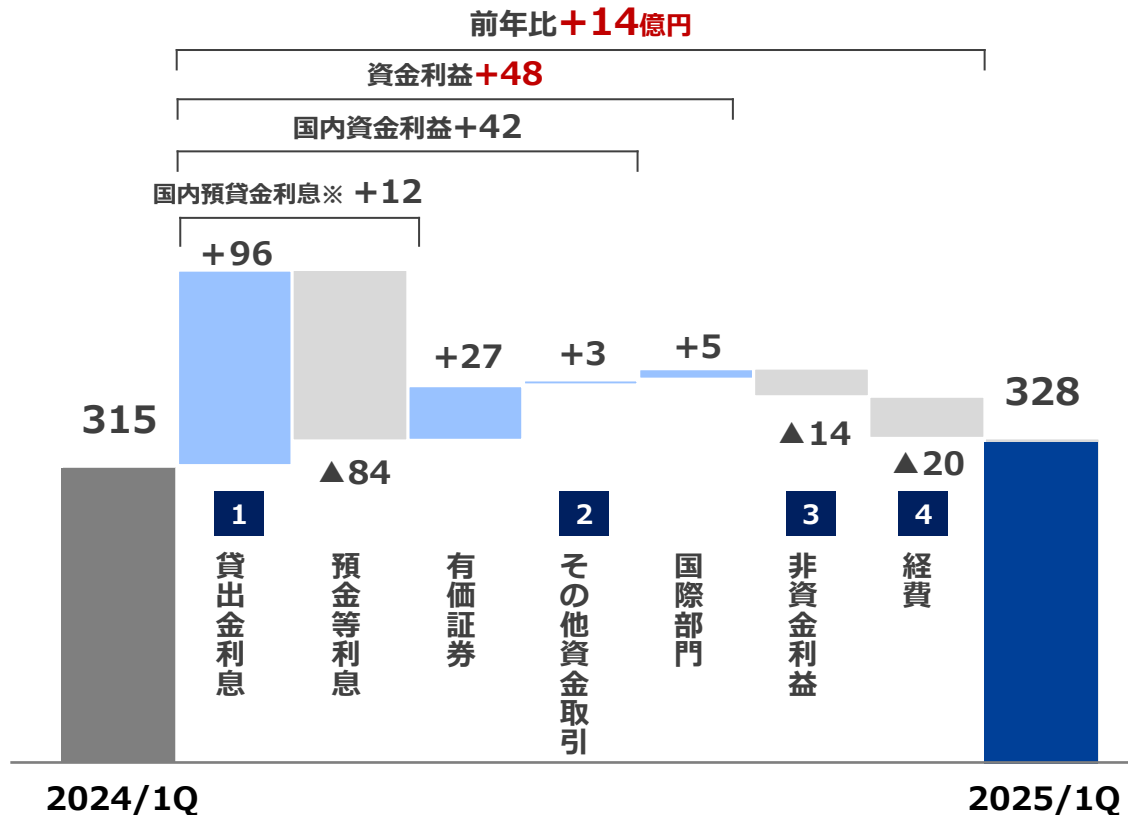
（単位：億円）

[非資金利益] 除く債券損益、[経費] 除く臨時処理分



前年比増減の内訳（銀行合算）

（単位：億円）



- 1 利回り要因 +84、ボリューム要因 +12
- 2 日銀当座預金 +65【25/6末残：7.0兆円】、政府向け貸出金 +40【25/6末残：3.4兆円】
短期資金調達等▲102【25/6末残：市場調達5.4兆円、日銀オペ4.0兆円】
- 3 投信▲7（販売手数料▲9、信託報酬等+2）、保険+0、団信保険料▲6（配当減少）
- 4 人件費▲14、物件費▲5、税金▲1

※政府等向け貸出金利息除く

資金利益（銀行合算）

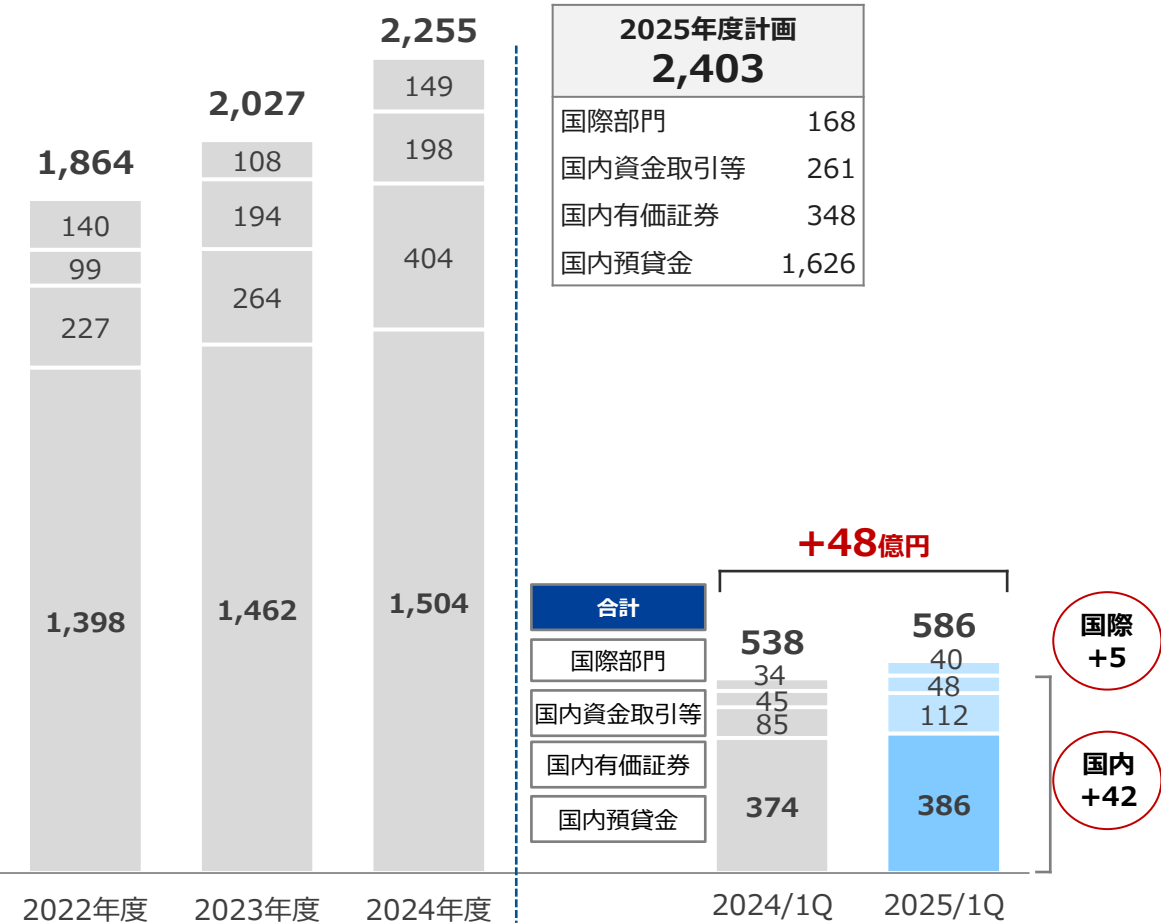
損益の状況

● 資金利益は前年比 + 48億円増益。国内部門は金利上昇を受けた有価証券利息配当金・預貸金利息の増加を主因に +42億円増益、国際部門は調達コストの減少を主因に + 5億円増益

資金利益（銀行合算）

(単位：億円)

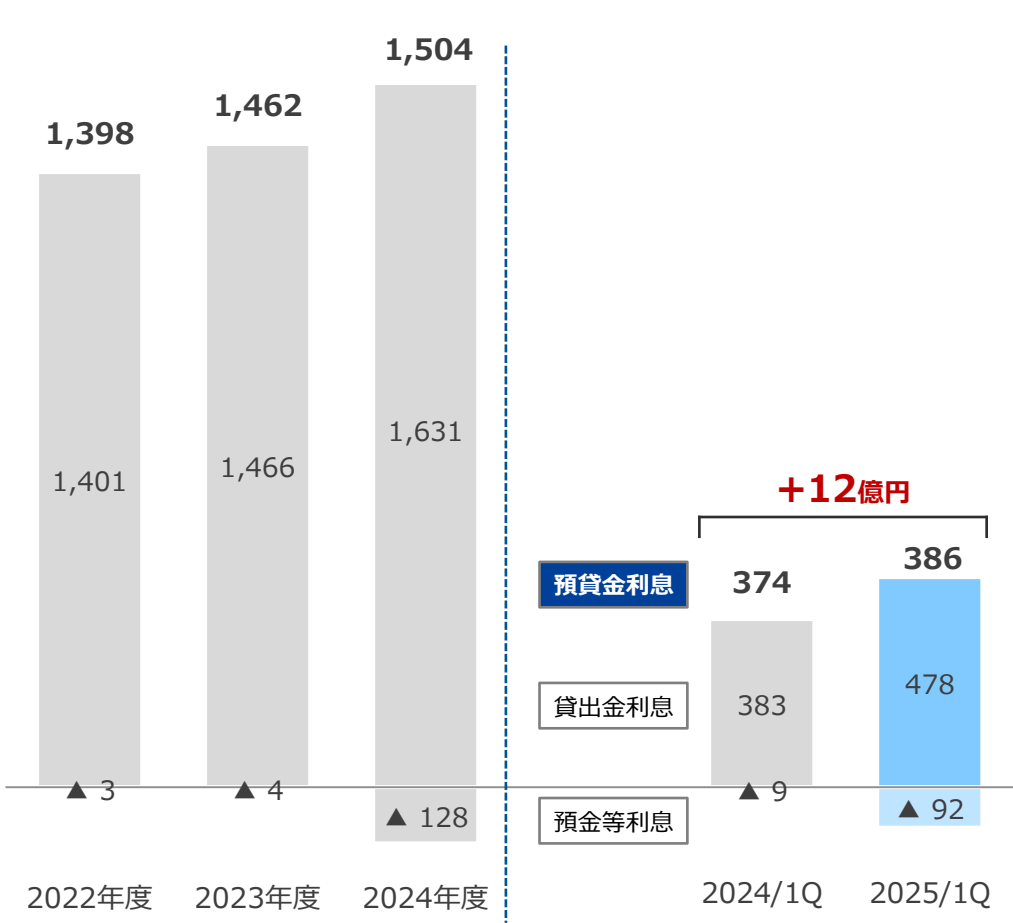
国内預貸金：政府等向け貸出金を除く



国内預貸金利息（銀行合算）

(単位：億円)

貸出金利息：政府等向け貸出金を除く



国内貸出金利回り

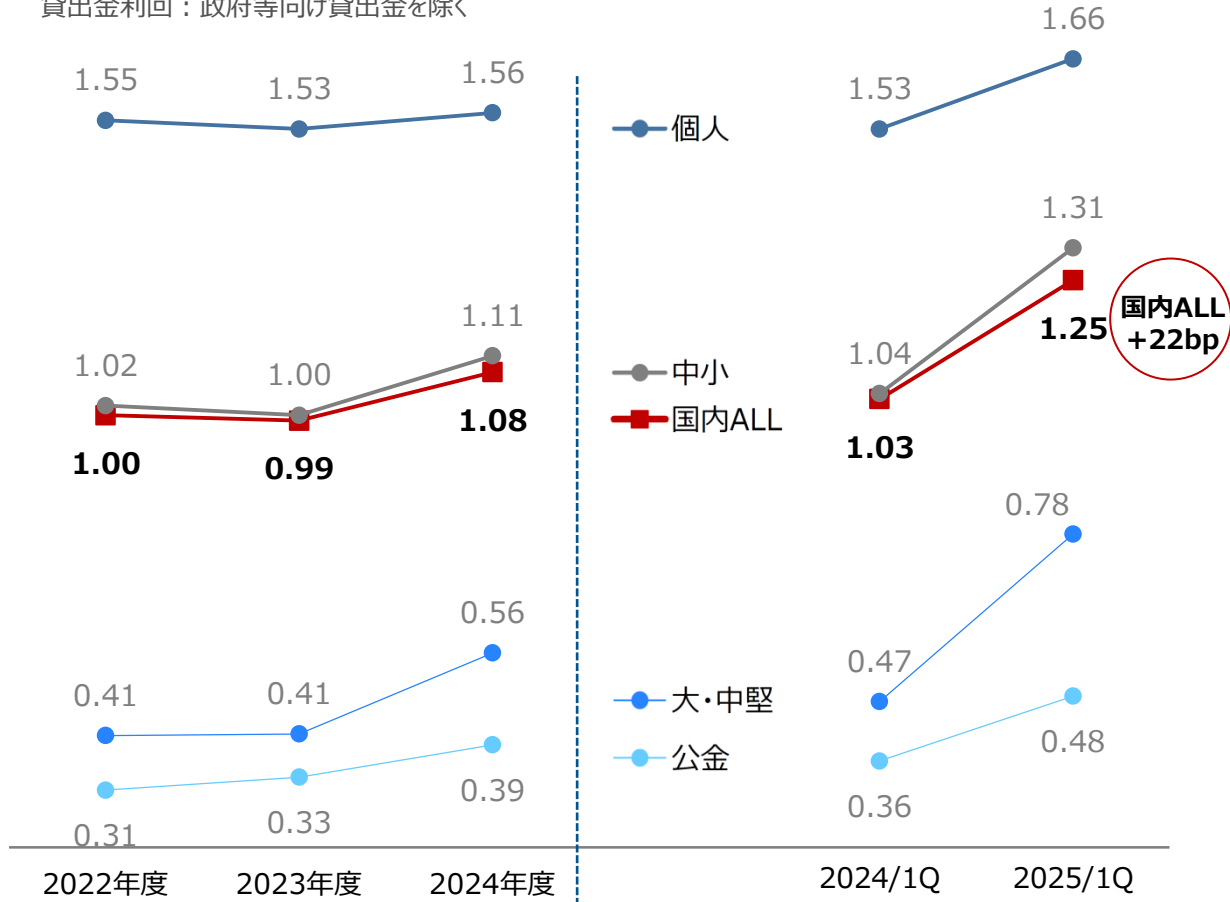
損益の状況

● 貸出金利回りは全セグメントで上昇、国内全体では前年比+22bpの1.25%。預金等利回りの上昇（前年比+16bp）を吸収し、預貸金粗利鞘は前年比+6bpの1.08%

国内貸出金利回り（銀行合算）

(単位：%)

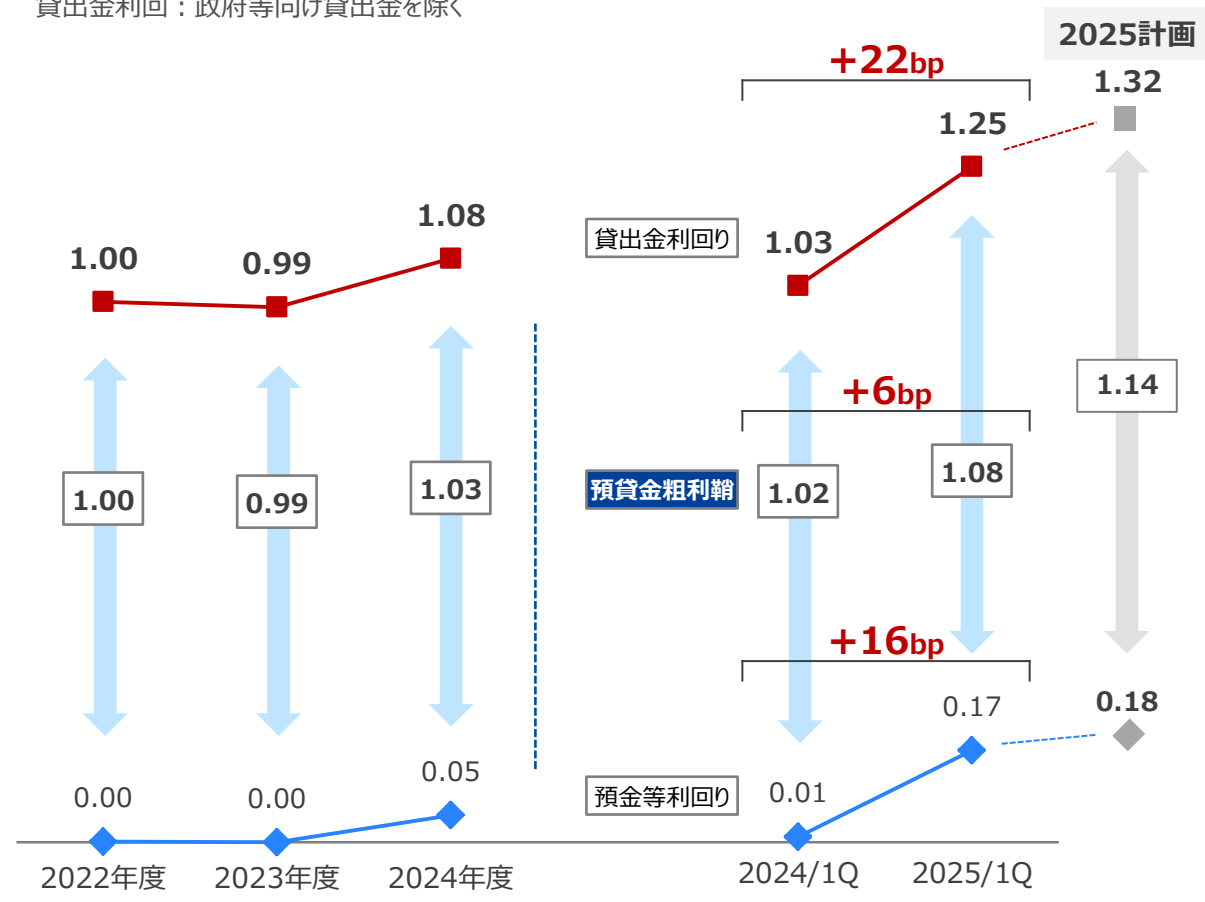
貸出金利回：政府等向け貸出金を除く



国内預貸金粗利鞘（銀行合算）

(単位：%)

貸出金利回：政府等向け貸出金を除く



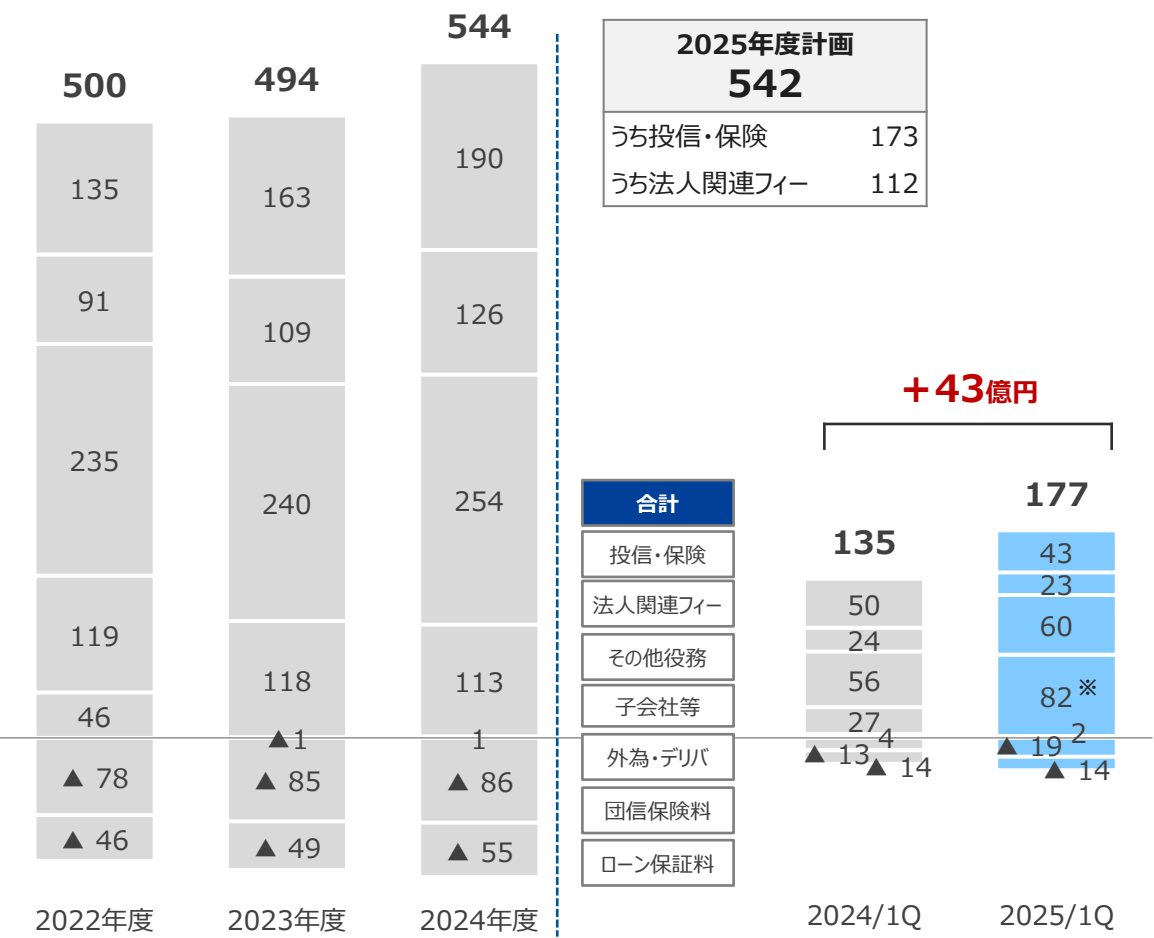
連結非資金利益（除く債券損益）

損益の状況

● 連結非資金利益はシステム外販収益計上（みんなの銀行関連）を主因に前年比+43億円増益。投資信託は、前年度好調に推移した販売手数料の反動減（計画織り込み済）はあるものの、残高積上げにより信託報酬は増加

非資金利益（FFG連結）

(単位：億円)



投信・保険手数料 内訳（銀行合算）

(単位：億円)

	FY22	FY23	FY24	2024/1Q	2025/1Q	前年比
合計	135	163	190	50	43	
投資信託販売手数料	40	57	69	20	11	▲9
投資信託信託報酬	40	51	68	16	17	+2
保険手数料	54	54	54	14	14	

法人関連フィー 内訳（銀行合算）

(単位：億円)

	FY22	FY23	FY24	2024/1Q	2025/1Q
合計	91	109	126	24	23
シンジケートローン、 ストラクチャードファイナンス	51	63	69	11	11
コンサルティング、 ビジネスマッチング	4	5	10	2	1
M&A	4	6	10	2	0
その他 (法人決済手数料等)	32	35	38	10	11
参考 (株)FFG Succession ※ (M&Aアドバイザーサービス業)	3	3	5	0	2

※みんなの銀行関連のシステム外販収益の計上

※2022年4月1日設立のFFG100%子会社（表中の計数はM&A手数料）

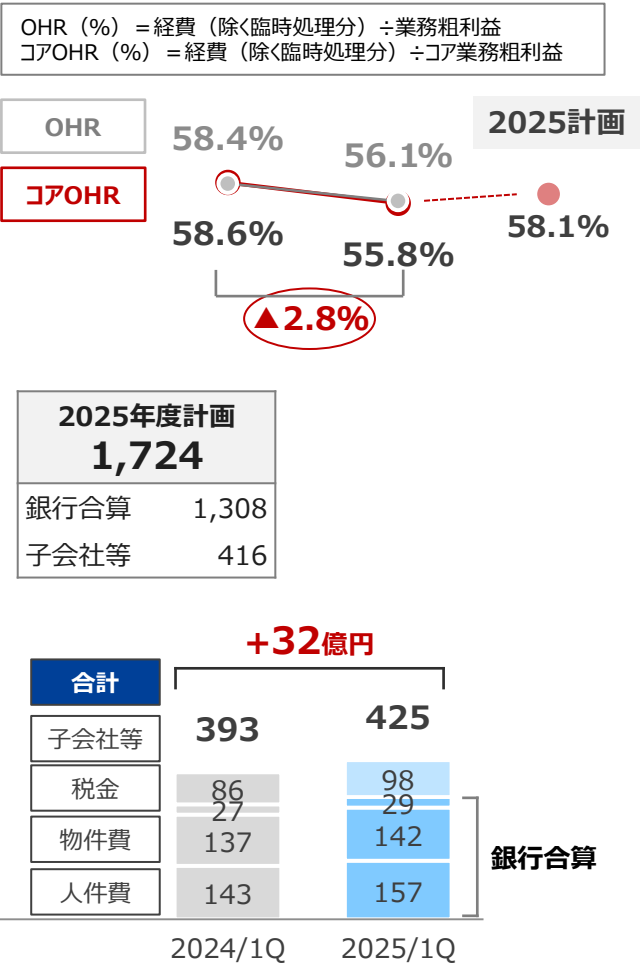
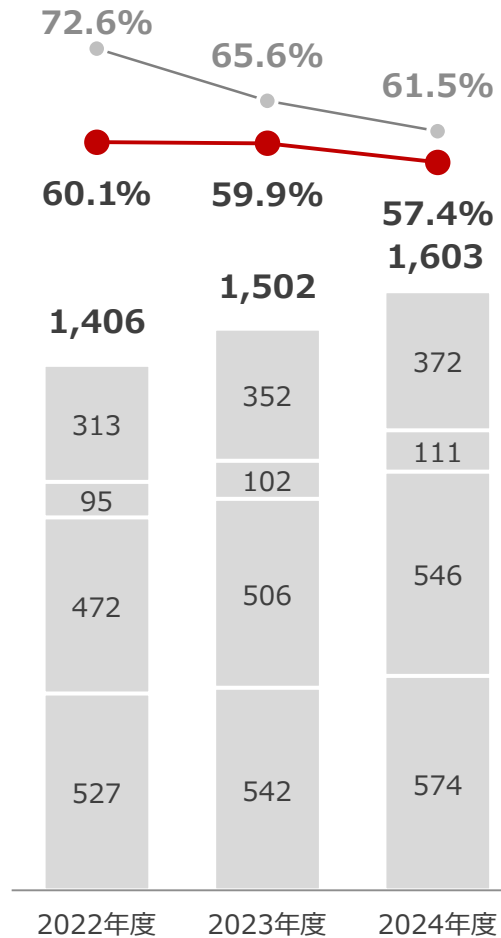
連結経費

損益の状況

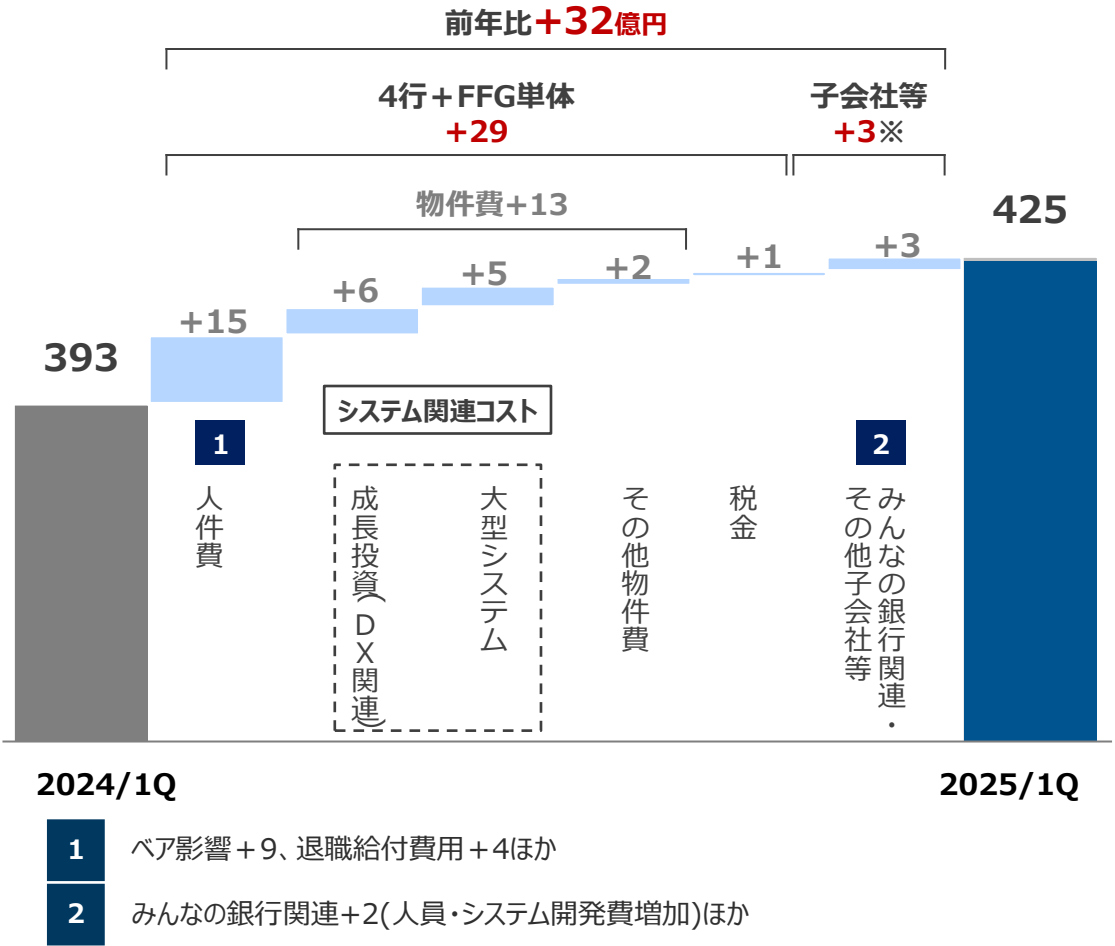
- 連結経費はベア等の人件費、システム関連コスト（DX関連の成長投資、大型システム）を主因に前年比+32億円増加。
- 連結コアOHRはコア業務粗利益増加により55.8%と前年比▲2.8%改善

経費の推移（FFG連結）

【除く臨時処理分】



前年比増減の内訳



※FFG単体除く

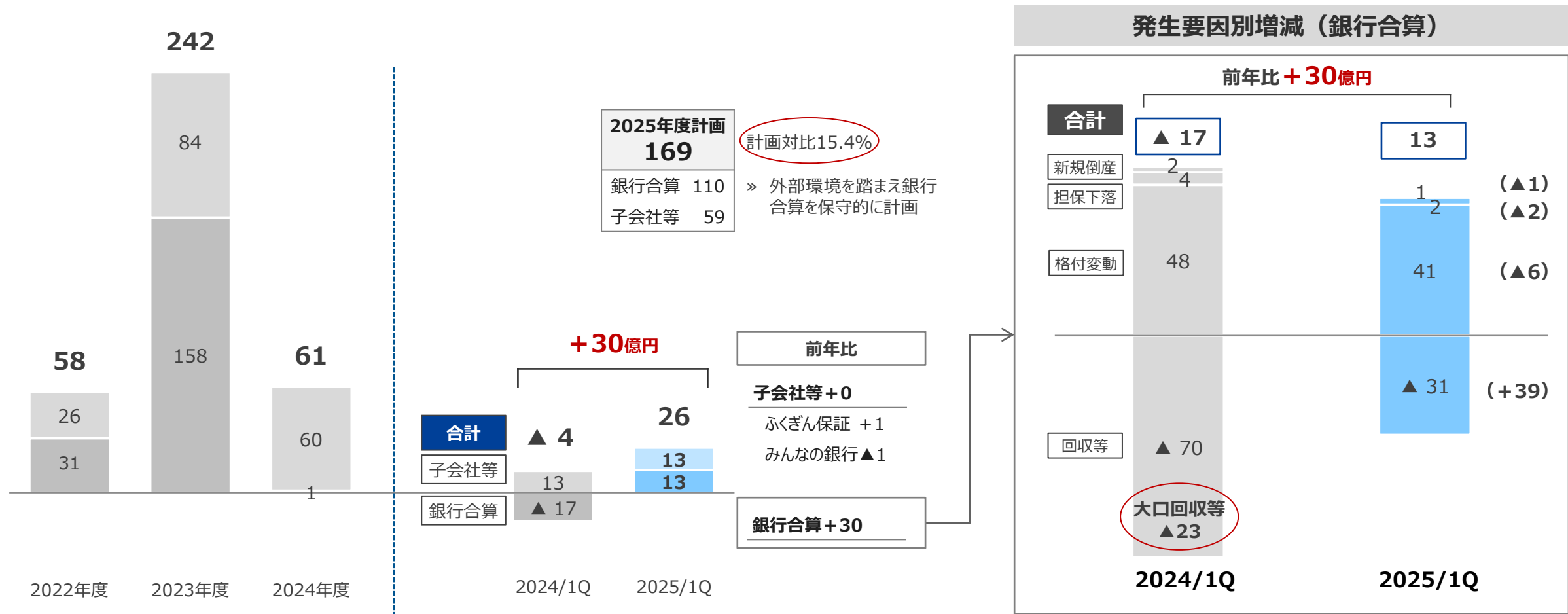
連結信用コスト

損益の状況

- 連結信用コストは、銀行合算における前年の大口回収等による戻り益計上の反動により前年比 + 30億円増加
- なお、新規倒産や格付変動は前年から大きな変化はなく、年度計画に対する割合は15.4%と低位水準

信用コスト（▲）の推移（FFG連結）

(単位：億円)



貸出金

資産・負債等の状況

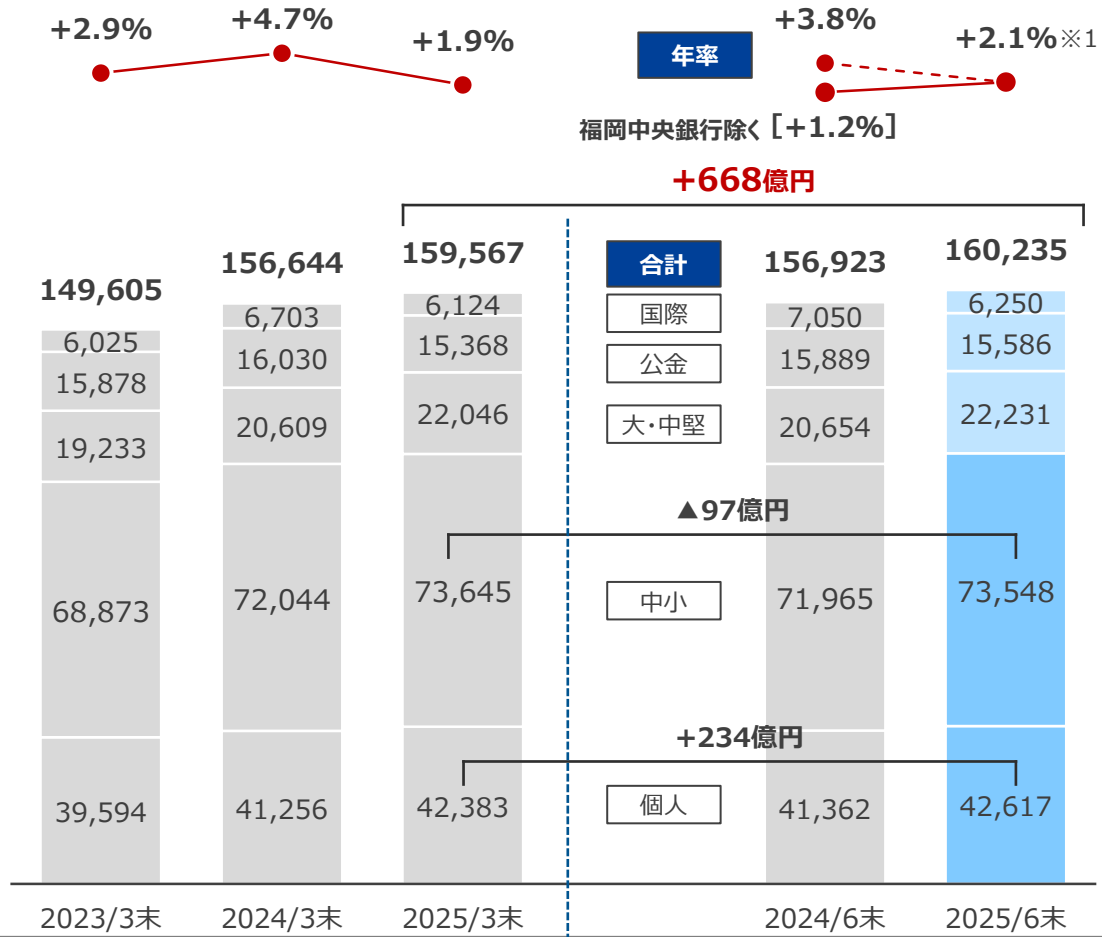
- 銀行合算の期末残高は16兆235億円、平均残高は15兆9,249億円
- 期末残高は2025/3末比+668億円（年率+2.1%）、平均残高は前年比+3,399億円（年率+2.2%）

2025年度計画	
平残	159,119
年率	+1.0%

期末残高（銀行合算）

(単位：億円)

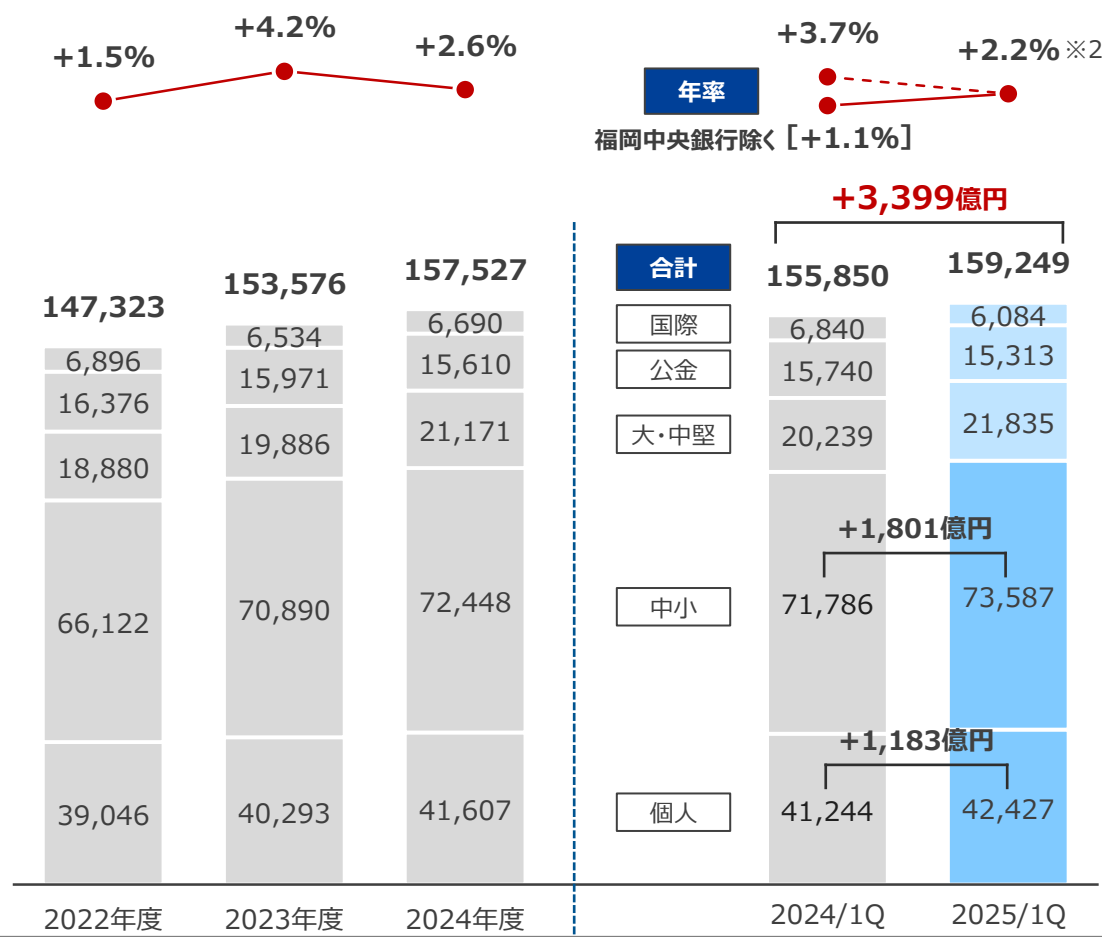
政府向け（公金）、福岡銀行のFFG向け貸出金（大・中堅）を除く



平均残高（銀行合算）

(単位：億円)

政府向け（公金）、福岡銀行のFFG向け貸出金（大・中堅）を除く



※1 セグメント別年率(個人+3.0%、中小+2.2%、大・中堅+7.6%、公金▲1.9%、国際▲11.4%)

※2 セグメント別年率(個人+2.9%、中小+2.5%、大・中堅+7.9%、公金▲2.7%、国際▲11.0%)

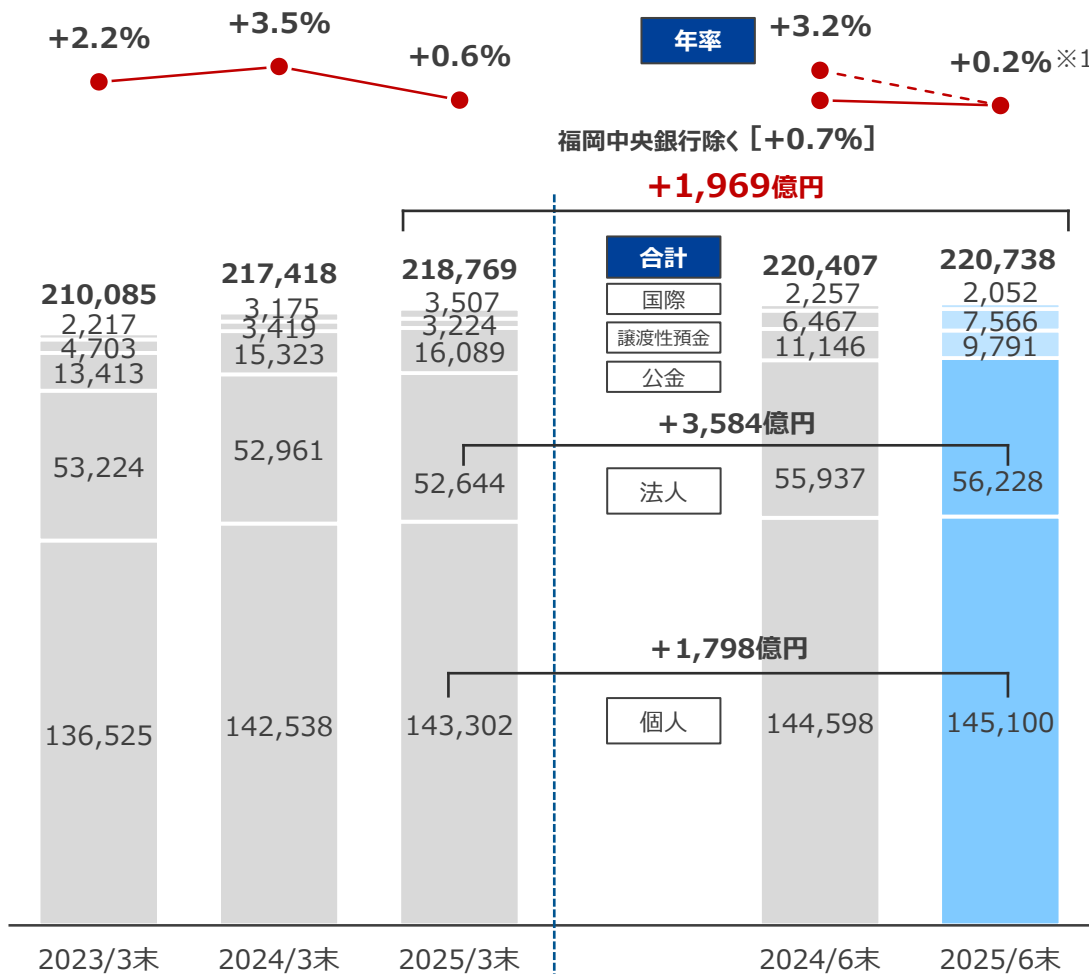
預金等（譲渡性預金含む）

資産・負債等の状況

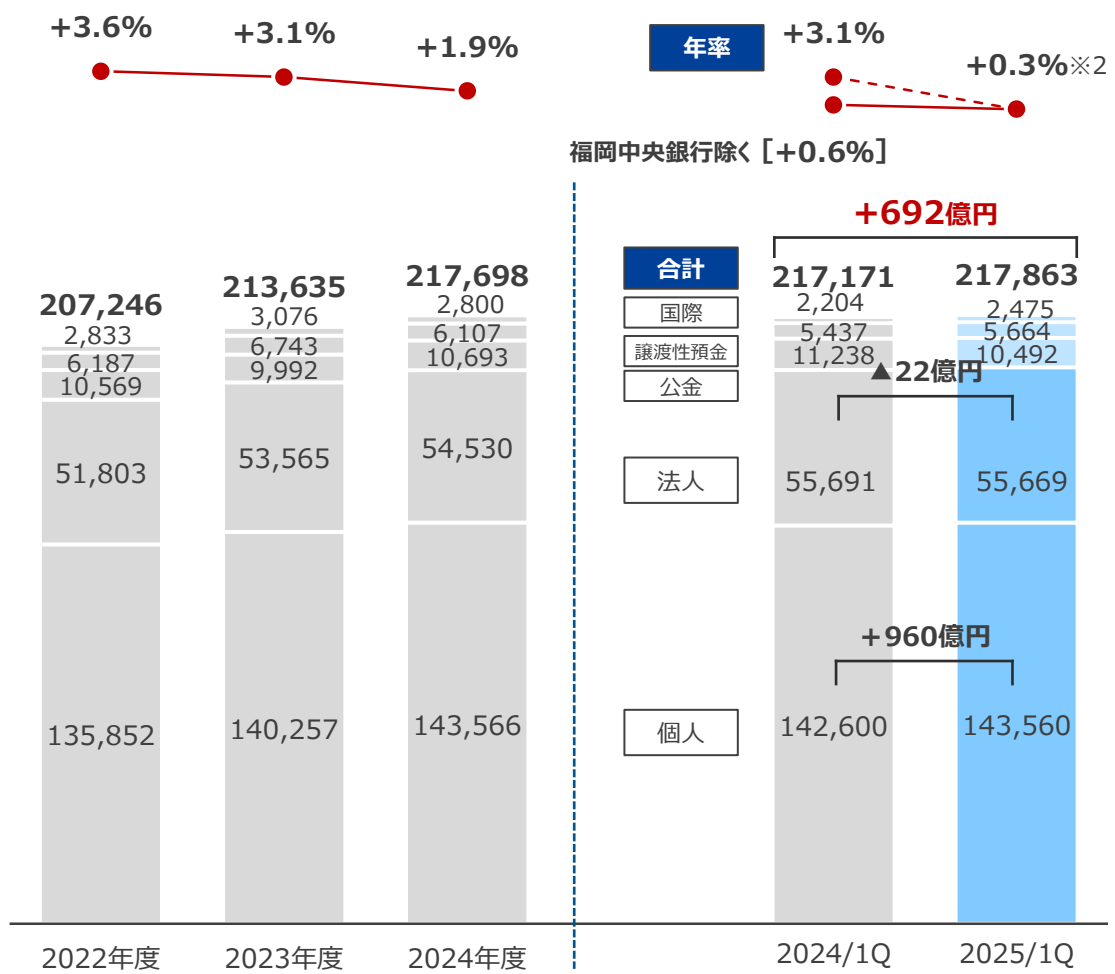
- 銀行合算の期末残高は22兆738億円、平均残高は21兆7,863億円
- 期末残高は2025/3末比+1,969億円（年率+0.2%）、平均残高は前年比+692億円（年率+0.3%）

2025年度計画	
平残	218,651
年率	+0.4%

期末残高（銀行合算）
(単位：億円)



平均残高（銀行合算）
(単位：億円)



※1 セグメント別年率(個人+0.3%、法人+0.5%、公金▲12.2%、譲渡性預金+17.0%、国際▲9.1%)

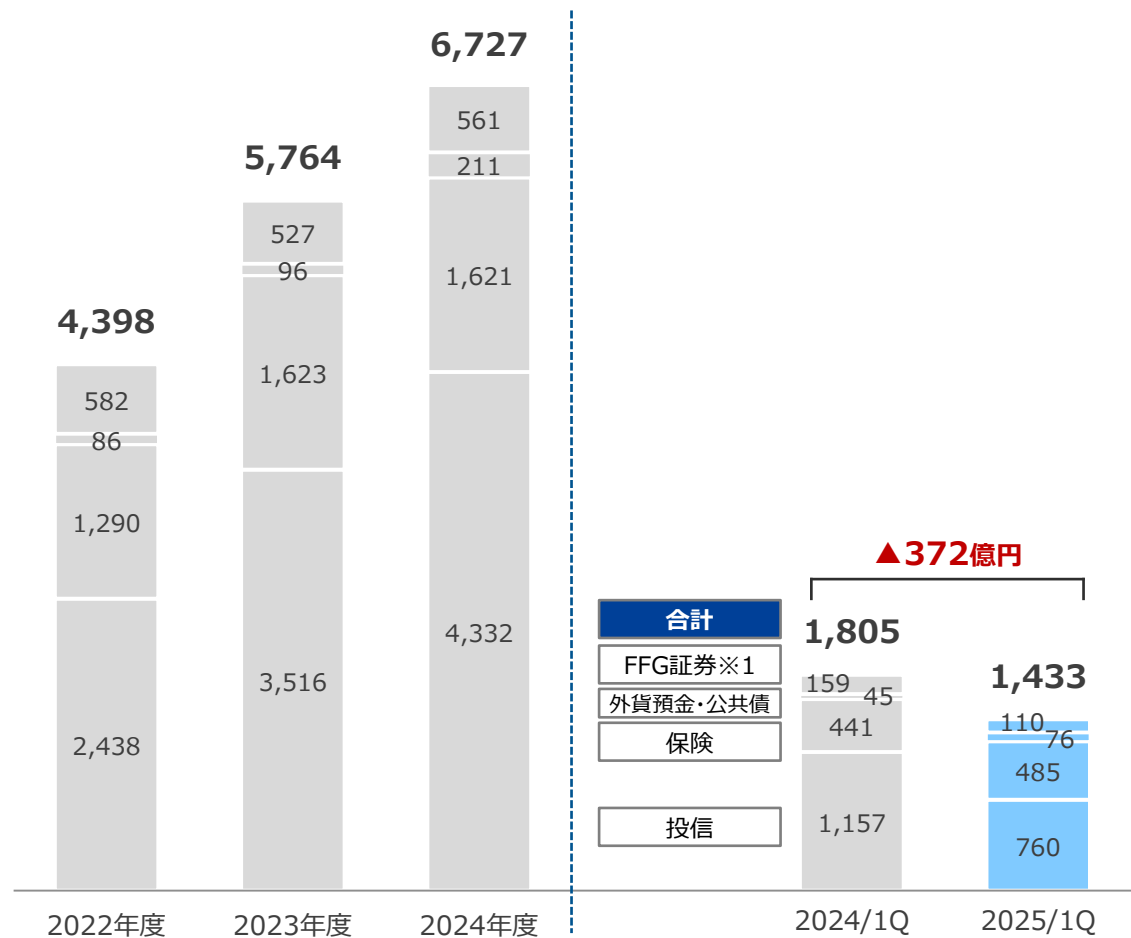
※2 セグメント別年率(個人+0.7%、法人▲0.0%、公金▲6.6%、譲渡性預金+4.2%、国際+12.3%)

資産運用商品

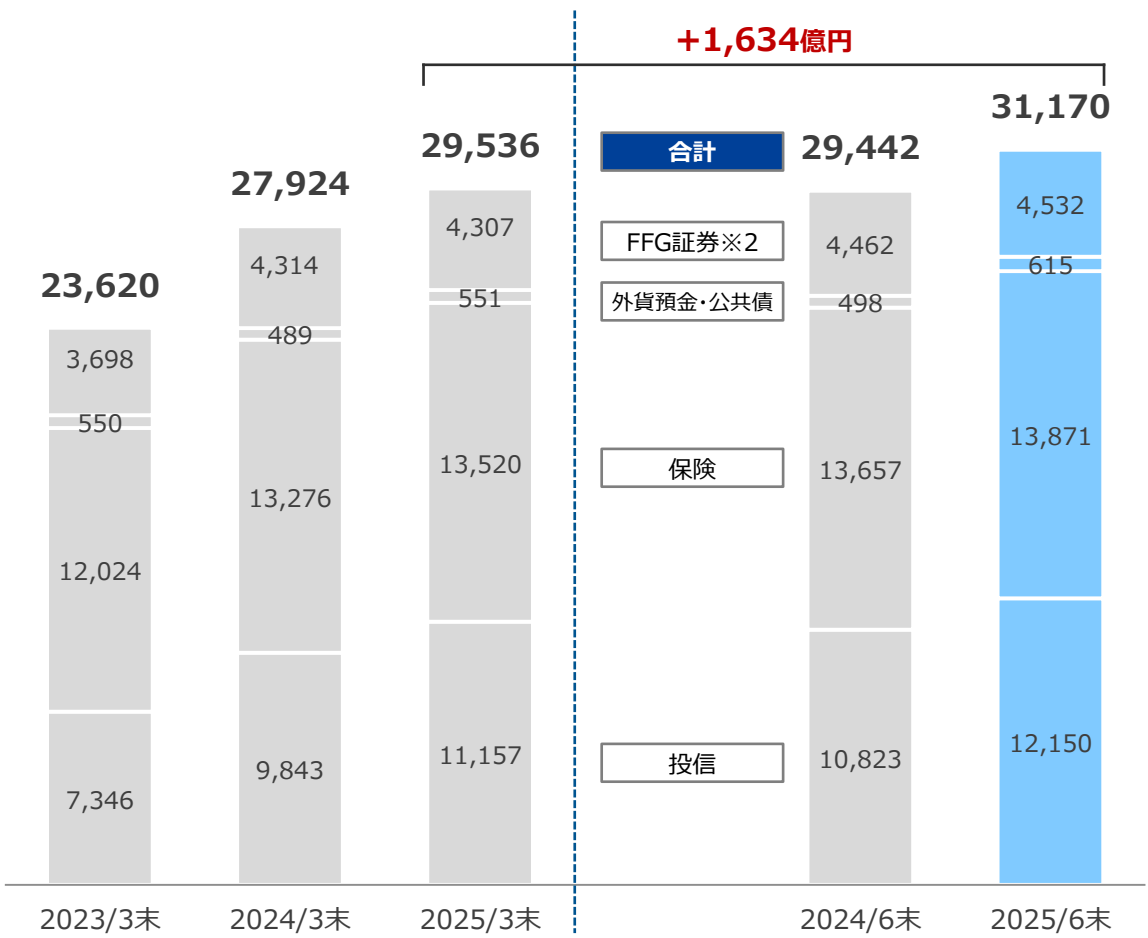
資産・負債等の状況

- 投資信託販売額は前年度の好調な販売の反動で減少したが、保険は円建商品を中心に増加
- 個人預り資産残高は引き続き堅調に推移し、2025/3末比 + 1,634億円

資産運用商品販売額（グループ合算）
(単位：億円)



個人預り資産残高（グループ合算）
(単位：億円)



※1 投信・債券販売額の合計

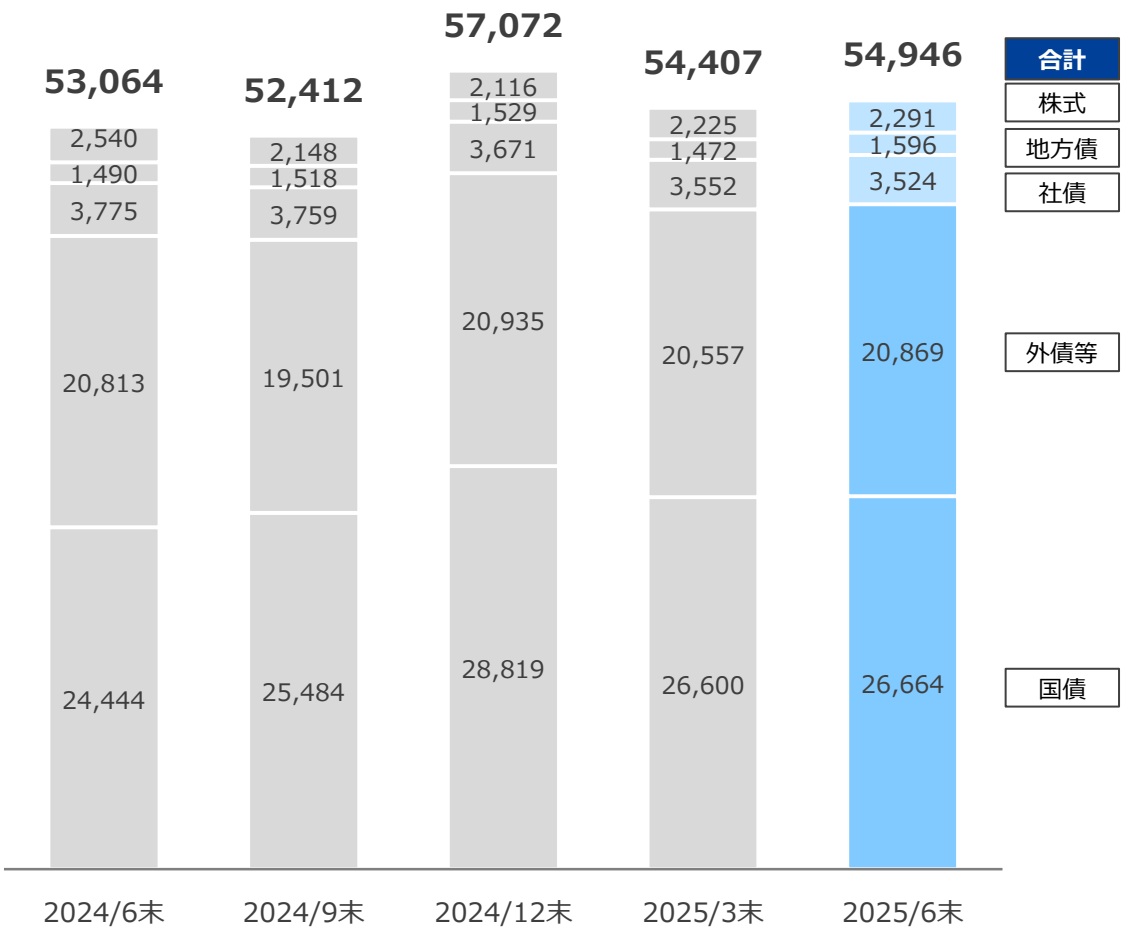
※2 個人の投信・株式・債券残高の合計

有価証券

資産・負債等の状況

- 評価損益は、株価上昇等を受け、ヘッジ考慮後で▲3億円と概ねフラットまで改善
- 円建債券については金利動向を注視しつつ慎重に投資を進めており、デュレーションは2年程度で推移

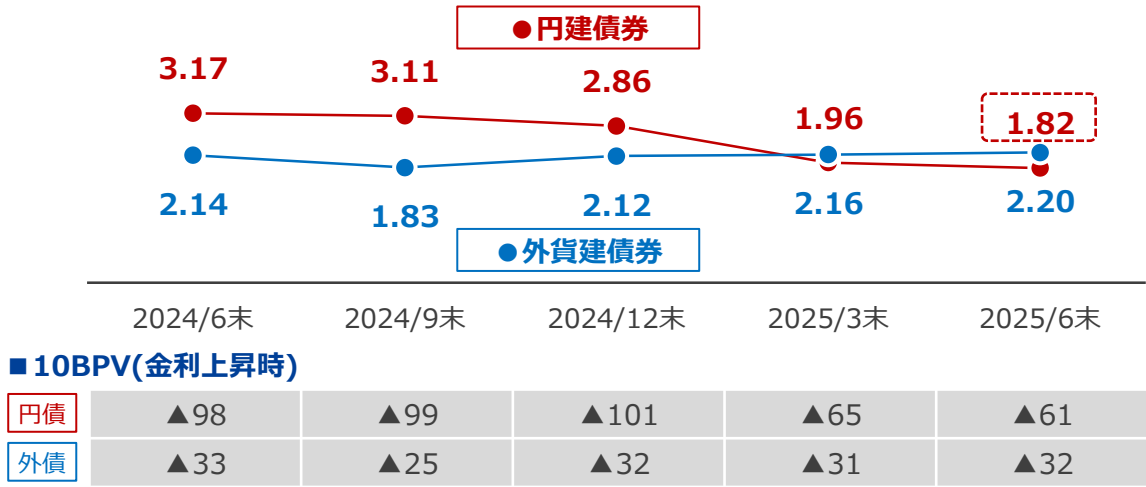
期末残高（FFG連結）
(単位：億円)



評価損益（FFG連結）
(単位：億円)

	2024/6末	2024/9末	2024/12末	2025/3末	2025/6末
合計(ヘッジ前)	▲424	+158	▲641	▲1,177	▲918
うち円債	▲1,719	▲1,248	▲1,654	▲2,230	▲2,183
うち外債	▲444	▲89	▲440	▲278	▲298
合計(ヘッジ後)	+461	+523	+224	▲193	▲3
うち円債	▲1,146	▲956	▲1,117	▲1,476	▲1,492
うち外債	▲131	▲17	▲111	▲48	▲74

債券デュレーション・10BPV（銀行合算）※
(単位：年、億円)



※ヘッジ考慮後、満期保有目的の有価証券を含む

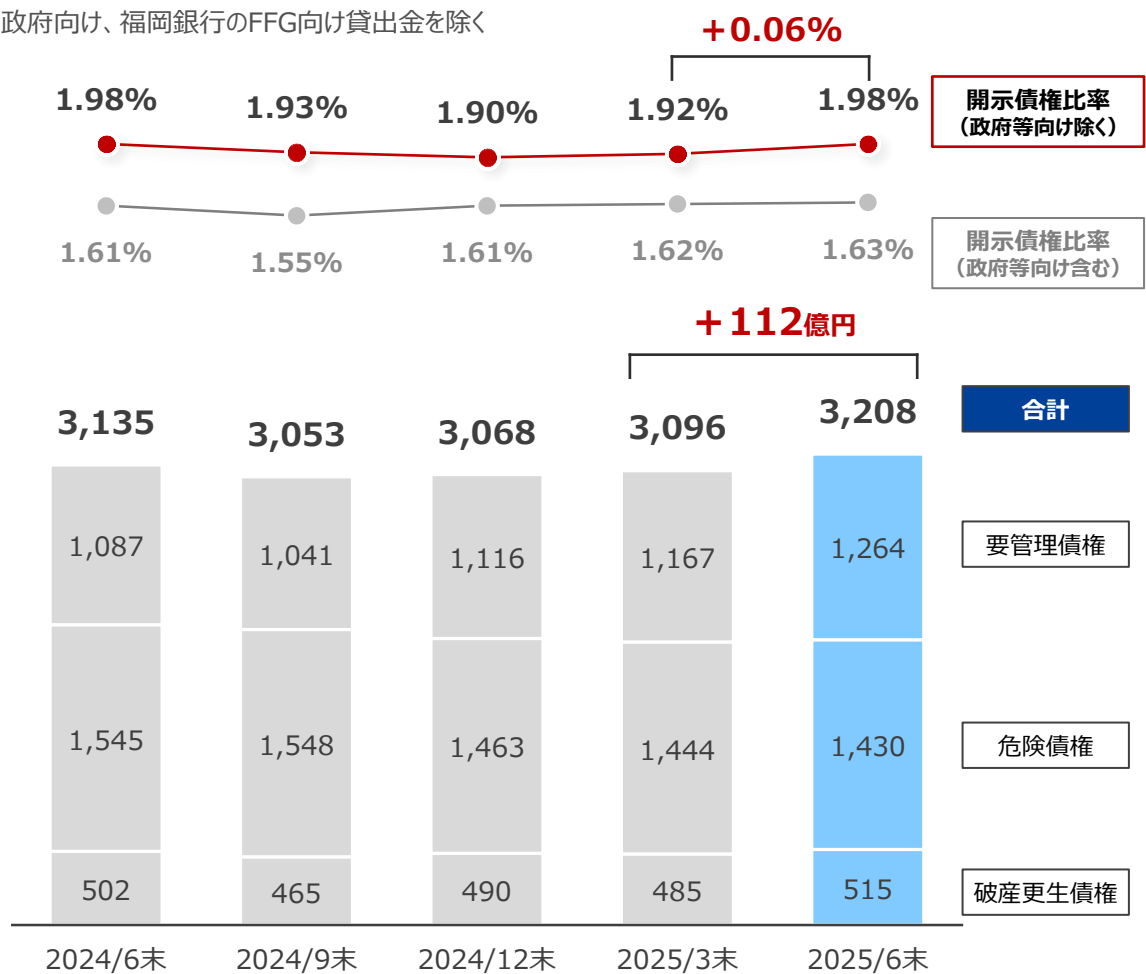
金融再生法開示債権・貸倒引当金

資産・負債等の状況

- 開示債権比率は2%未満で推移しており、貸出金等のポートフォリオの質は高位安定
- 貸出金等の全体に対する貸倒引当金の水準（引当率）は1.2%程度と引続き高い水準を維持

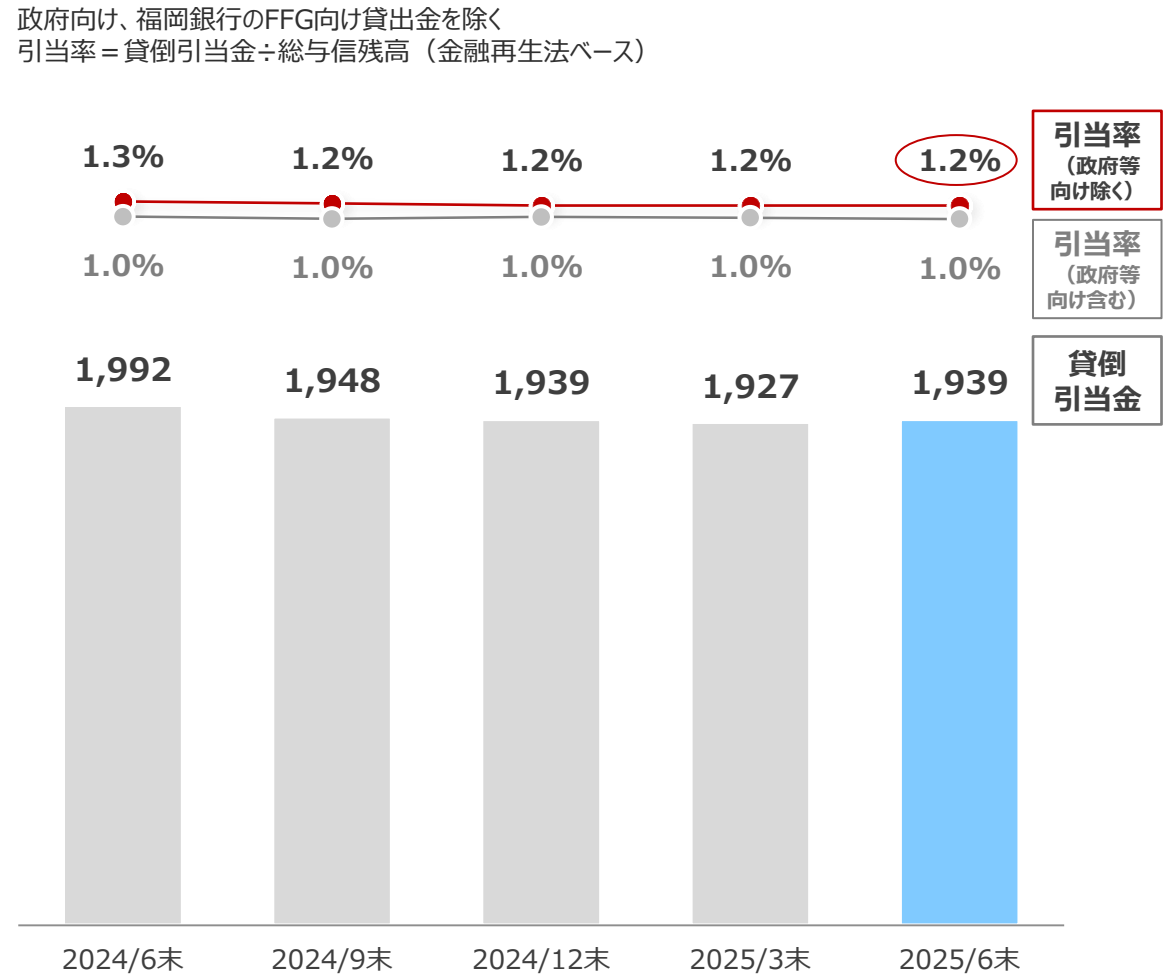
金融再生法開示債権残高・比率（FFG連結）

(単位：億円)



貸倒引当金・引当率（FFG連結）

(単位：億円)



みんなの銀行関連

みんなの銀行関連

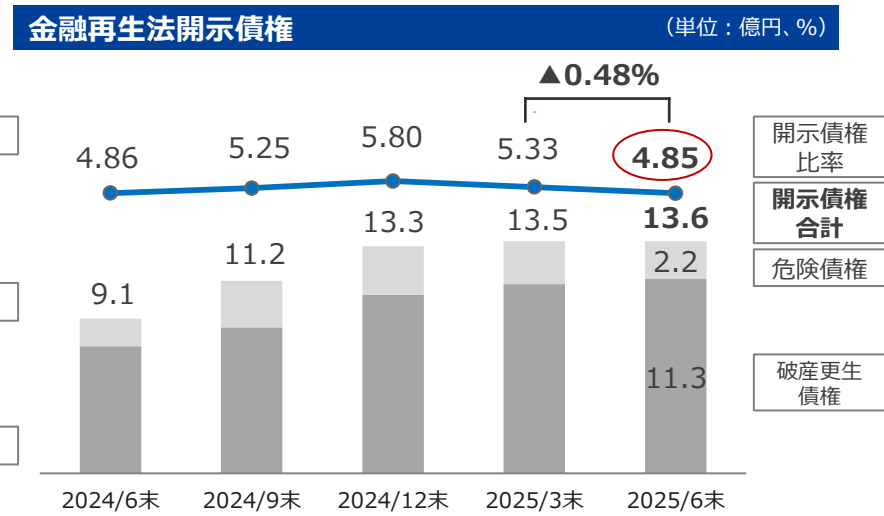
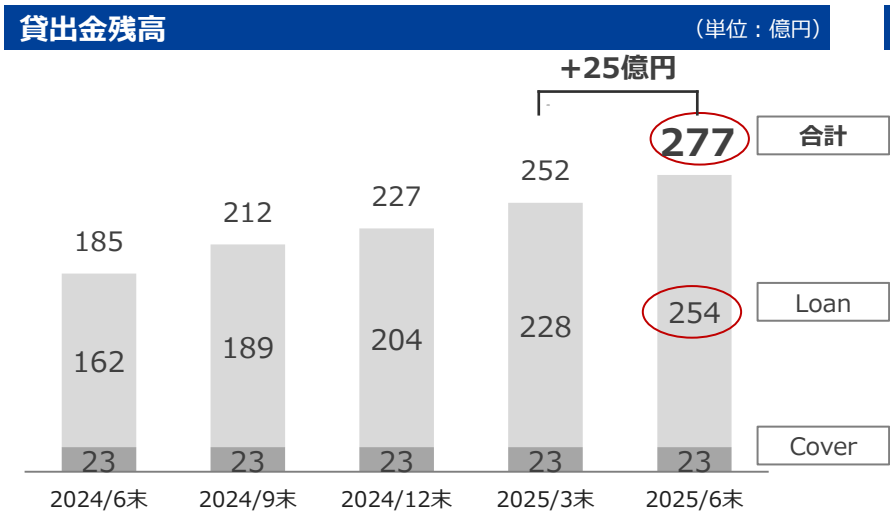
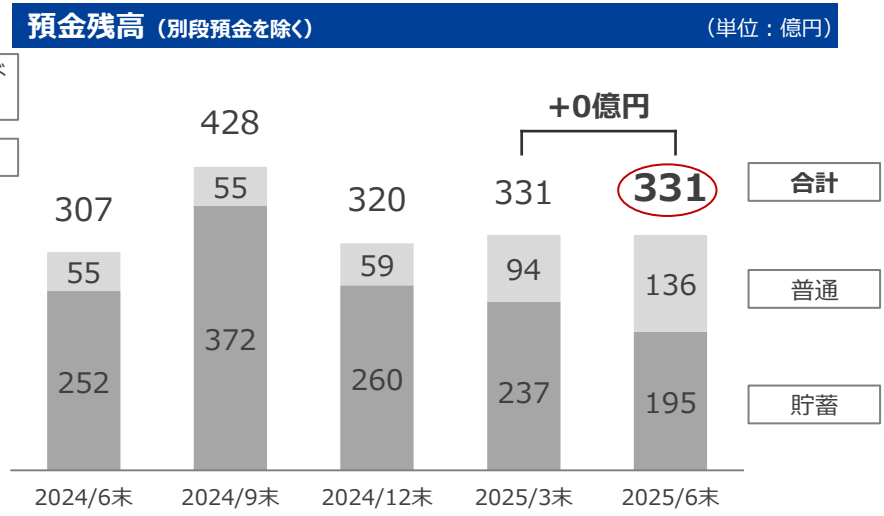
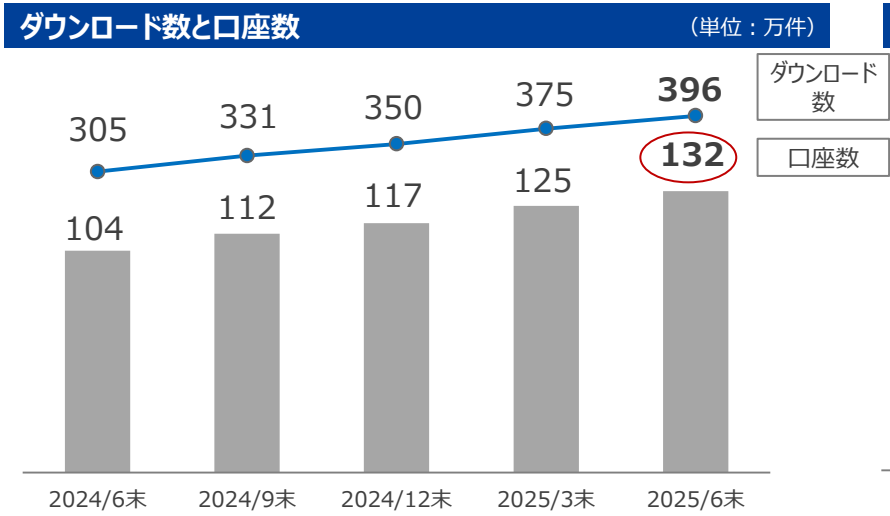
- 口座数は引き続き堅調に増加。預金は2025/3末比横ばいの331億円
- 貸出金は2025/3末比+25億円の277億円。開示債権比率は4.85%と2025/3末比▲0.48%低下

損益サマリー（みんなの銀行関連※）（単位：億円）			
2025/1Q 実績	2025/1Q	前年比	2024/1Q
業務粗利益	61	+57	4
資金利益	8	+3	4
うち貸出金利息	8	+3	5
非資金利益(除く債券損益) *	53	+54	▲ 0
経費(▲)	28	+2	26
コア業務純益	33	+55	▲ 22
経常利益	29	+56	▲ 26
当期純利益	20	+40	▲ 19
信用コスト(▲)	3	▲ 1	4

(参考)			
2025年度 業績予想	2025年度	前年比	2024年度
	予想		実績
当期純利益	▲ 50	+38	▲ 88
信用コスト(▲)	17	+2	15

*システム外販による収益を含む

目標指標等	2025年度計画
口座数	200万口座
ローン残高	380億円



(※) みんなの銀行及びゼロバンク・デザインファクトリーの合算（両社の内部取引相殺後）。

一歩先を行く発想で、地域に真のゆたかさを。



- 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載されている事項の全部または一部は予告なく修正または変更されることがあります。
- 本資料に記述された将来の業績に関する記述につきましては、経営環境の変化等に伴い、予想あるいは目標対比変化し得ることにご留意ください。
- なお、本資料の全部又は一部を当社の承諾なしに転写・複製し、又は第三者に伝達することはできませんのでご注意下さい。